

普通救命講習 ～宮の森ニュータウン～

6月3日、塩田公民館において東消防署の職員を講師に、普通救命講習会を実施しました。

団地内でも高齢化が進み「いざという時に隣近所助け合おう」という機運が高まり、開催されたものです。

当日は、救急講義から始まり心肺蘇生法、AEDの取扱いの実技を行いました。

「心肺停止状態の人と遭遇した場合は、救急車を要請してからの救命処置がその人の命を救う決め手」となることを忘れず、今後、万が一の為の備えにしてほしいものです。



地域を守る新たな力 新入団員研修会

平成19年度新入団員研修会を6月10日、大宮東部地区コミュニティセンター（小倉）及び消防広場で行いました。今年度は67人の新団員とともに女性団員25人が新たに加わり、市の消防防災活動に勤めます。

毎年、この時期になると新入団員は研修を行い、消防団員の任務・歴史、災害現場での活動要領を学び、敬礼の仕方、小隊・中隊での訓練、ホースの伸ばし方などの実技訓練を実施します。このような訓練を行うことで団員の責任感や団結心を養い、実際の現場での消防防災活動でスムーズな対応が可能になります。消防防災活動においてこの若い力に期待したいと思います。



おもちゃ花火

夏の風物詩といえば・・・そう、花火です。皆さんも自宅前やキャンプなどで花火をする機会が増えるのではないのでしょうか。

子どもたちにとってもおもちゃ花火は身近なもの。楽しい花火も使用法や注意事項を守らないと大きな事故や火災につながります。必ず注意書を読み、マナーとルールを正しく守って花火遊びを楽しみましょう。

🌸🌸 花火を安全に楽しく遊ぶには!! 🌸🌸

1. 水の入ったバケツを用意し、終わった花火を水につけると完全に消火できます。（ゴミ箱に捨てて火災になったケースがあります。）
2. 風の強いときや空気が乾燥しているときは、花火遊びはやめましょう。
3. 大人と一緒に遊びましょう。（大人が積極的に参加し、花火の正しい扱い方、火の後始末を指導してあげてください。）
4. 花火を分解したり、火薬を集めて火をつけるなどは危険ですので、絶対しないでください。
5. 花火に書いてある遊び方をよく読んで必ず守りましょう。



救急メモ

慌てないための虫刺され対処法

夏は屋外の活動が多くなり、楽しみと背中合わせに危険もいっぱいです。そのひとつが「虫刺され」で、痛みやかゆみが主な症状です。中でも攻撃性の強いスズメバチは、命にかかわる場合もあるので注意が必要です。毒そのものが命に関わることはありませんが、蜂の毒に過敏に反応してしまうアレルギーを持った人の場合は、呼吸困難、血圧低下などを起こし危険な状態になることがあります。もし刺されたら毒液は、水に溶けやすいため傷口を冷水でよく洗い流し、腫れたり赤くなったら冷やしてください。少しでも様子がおかしいと感じたら、救急車を呼びましょう。ムカデでもアレルギー反応を起こす人もいます。様子がおかしいと思ったら、早めに医療機関で受診しましょう。

蜂に襲われないためには、近づいたりむやみに動いたりすると蜂は攻撃されたと思い攻撃してきますので、蜂を刺激しないようにしましょう。また、蜂は黒い色や花柄の服、香水や整髪料など匂いのするものに敏感に反応するので、ハイキング等は身支度にも気をつけましょう。